

広徳寺通信

Letter from Koutokuji Temple 第14号



◆ 北斗市の福田をながめて。

牡丹ぼたんにつづき庭に咲いた芍薬しゃくやくの花の美しさ
 にふと惹かれ立ちどまりました。芍薬はその何層にも重なる真つ白い花びらを見せつけるように私の前にあります。ともすると、「私ひとりのために咲いたのだ」と思ってしまう。しかし、それは私の傲慢ごうまん。芍薬は四方に花を咲かせ楽しんでいきます。花に正面はありません。風も雨も太陽の光も、そしてこの芍薬の花も、全てのもののためにあらゆるところに
 行きわたっています。

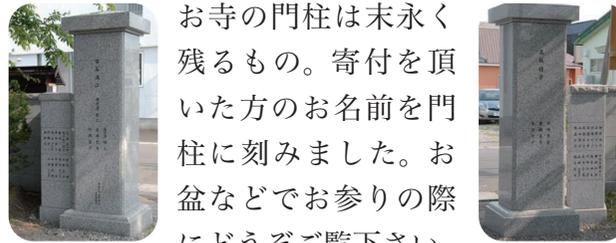
—のりのためあまね普あまねき雨あまねやそそぐらむくさきも四方よもに花咲きにけり

(黄葉和歌集)

お寺ニュース



名前が門柱に刻まれました！



お寺の門柱は末永く残るもの。寄付を頂いた方のお名前を門柱に刻みました。お盆などでお参りの際にどうぞご覧下さい。

※ご希望の方はまだ受けつけております。お早めにご連絡下さい。



ひとくちコラム

表 紙の写真ですが、これは先月6月半ばに撮影されたものです。しかし、7月に入った今、田んぼの稲はぐんぐん成長し、写真よりいっそうの緑の輝きを増しています。ジャガイモの花は畑一面に白い花を咲かせ、アジサイの花が彩りを放ちます。

住職



曹洞宗 慈眼山

広徳寺



〒049-0162 北海道北斗市中央 2-3-14

TEL 0138-73-2032 FAX 0138-73-5500

✉ info@jigenzan.org www.jigenzan.org



寺こやよりお知らせ

自分を見つめる！！

寺こや坐禅塾

シンプルなあなたにいったんリセット！

日時：7月23日(土)

午後4時からはじまります
(始まる10分前にはお越し下さい。)

参加費：100円

※どなたでもご参加いただけます。

※足を組めない方にはイスをご用意しています。

梅花講よりお知らせ

梅花流詠讚歌

講員さん随時募集してます！！

毎週土曜日

午後1時半

～

午後3時半

若いお坊さん
 たちの歌声に
 涙しました…。



◆梅花講は6月16日
 17日で洞爺に一泊。
 全道の講員さんとお詠
 歌をお唱えしました。



第3回 「十六羅漢像」

本堂のお釈迦様しゃかさまに向かって左奥。何があるかご存じですか？思い出そうとするとなんだかぼんやり。うーん、何があったかな？

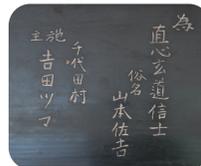


■ 羅漢さまって、どういう人？

羅漢さまは、正式には阿羅漢（あらかん）といい、お釈迦様と同じくさとの悟りの境地きょうちにいたったお坊さんのことです。ですが、どうぞ敬遠せずに。どの羅漢さまも思わず親しみをもってしまいそうな、人間味にあふれた雰囲気のお坊さんばかりです。来月のお盆ぼんのときなど、お寺に来た際には、手を合わせじっくりお顔をご覧ください。

■ ひとつひとつにお施主さま

お寺にある全てのものは、誰かが他の誰かのことを思って布施したものばかり。什物にはお施主さまがいます。ありがたいですね。



■ 羅漢さまと観音さま

本堂左奥には羅漢さまが16人、そのうしろには観音さまが33人いらっしゃいます。

◆ 十六羅漢像（じゅうろくらかんぞう）と三十三観音像（さんじゅうさんかんのぞう）。



■ いろいろな羅漢さま！



ん、エイッ！



喝ッ！



... ワーン



ウシシシ



ま、そんなところですよ。

◆ いろんな人がいるように、いろんな羅漢さまがいます。性格もいろいろ、表情もいろいろ、年もいろいろ、ポーズもいろいろ。

◆ 仏教の説く真理は一つですが、それを享受する人間は様々ではありません。みんな違ってみんないい。人にはそれぞれ咲かせるべき自分の花があります。



第12回 「お霊供膳の話 その4」

お霊供膳はいつ下げる？

朝早く起きて作ったお霊供膳。上げてすぐ下げてしまっはなんだか心ないようだし、かといって長くお供えしてあればご飯もかぴかぴに乾いてしまう。いったい、いつ下げればいいのでしょうか？

お参りが終わった後に ...

基本的には午前中で下げてしまっかまいません。お坊さんがお参りに来るときには、お経を読んでからにしましょう。ですが、「絶対に午前中までに下げなさい！」というわけではありません。仏さんの足が痛くならないうちにといいふうにも言いますが、要するに上げたお霊供膳を何日も上げっぱなしにしないこと！それをオススメしているのです。